

観光地における路上散乱ごみ対策実証調査 ー都市部の海洋ごみ発生源対策モデルの検証ー

横浜みなとみらい地区における実証事業

会 場：横浜みなとみらいエリア

提出先：公益財団法人 日本財団

提出日：2026年3月13日

作成：一般社団法人 SAVE OUR BEAUTIFUL OCEAN
(横浜エフエム放送株式会社)



実施に関わる関係先

事業名: 神奈川・千葉の海洋ごみ問題の周知と課題解決へのアクション創出（海と日本2025）

実施主体: 一般社団法人 SAVE OUR BEAUTIFUL OCEAN

連携: 横浜エフエム放送株式会社（FMヨコハマ）

調査協力: 株式会社ピリカ

行政連携: 横浜市資源循環局

助成: 日本財団調査期間2025年12月～2026年1月報告書

目次

- 1.事業概要
- 2.社会背景と課題
- 3.事業目的
- 4.実施体制
- 5.調査設計
- 6.実証実験の実施内容
- 7.調査結果
- 8.考察
- 9.本事業の社会的意義
- 10.全国展開可能性
- 11.今後の展望
- 12.参考資料

1.事業概要

本事業は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、都市部における路上散乱ごみの実態を把握し、海洋ごみの発生源対策につなげることを目的に実施したものである。

一般社団法人SAVE OUR BEAUTIFUL OCEANは、FMヨコハマと連携し、横浜みなとみらいエリア（日本丸メモリアルパーク周辺）において、公共ごみ箱の設置効果を検証する実証調査を実施した。

期間限定でごみ箱を設置し、設置前・設置中・撤去後の散乱ごみ状況を比較分析することで、観光地におけるごみ対策のあり方について検証を行った。

2.社会背景と課題

近年、訪日観光客の増加に伴い、観光地における路上ごみ問題は全国的な課題となっている。

一方、日本の都市ではテロ対策や衛生管理の観点から公共ごみ箱の設置数が制限されてきた歴史があり、観光客がごみを捨てる場所を見つけにくい状況が指摘されている。

都市部で発生するポイ捨てごみの一部は河川を経由して海洋へ流出する可能性があり、海洋ごみ問題の上流対策として街中のごみ対策の重要性が高まっている。

3. 事業目的

本事業では以下を目的とした。

1. 観光地における路上散乱ごみの実態把握
2. 公共ごみ箱設置による散乱ごみ抑制効果の検証
3. 都市部における海洋ごみ発生源対策の実証モデル構築

4. 実施体制

<役割>

事業主体

連携

調査協力

行政協力

助成

<団体>

一般社団法人 SAVE OUR BEAUTIFUL OCEAN

FMヨコハマ

株式会社ピリカ

横浜市資源循環局助成

日本財団

5. 調査設計（調査条件、手法）

本調査では、公共ごみ箱の設置効果を検証するため、

- ・設置前（～2025年12月11日）
- ・設置期間（2025年12月11日～2026年1月8日）
- ・撤去後（2026年1月8日～）

の3条件で路上散乱ごみ量を比較した。

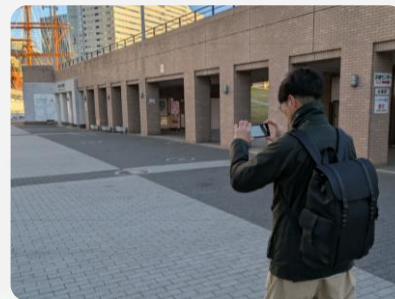
調査にはごみ分布調査システム

「**タカノメ（徒歩版）**」を使用し、動画解析による定量データを取得した。

5. 調査設計（調査手法の詳細）

ごみ分布調査システム「タカノメ（徒歩版）」調査方法

1. 調査ルート上を歩きながら専用のスマートフォンで動画撮影を実施
2. 撮影された動画データを解析し、地点ごとの路上散乱ごみの種類（31種に分類）及びその数量を解析
3. 路上散乱ごみ分布結果を分析し、可視化



調査ルートをスマートフォンを利用して撮影



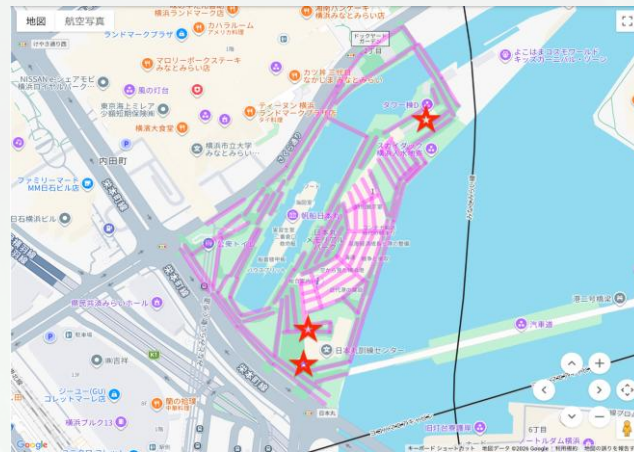
動画から路上散乱ごみの種類・数量を解析

6:実証実験の実施内容

調査対象エリア: 横浜市みなとみらい21地区日本丸メモリアルパーク周辺

実証内容:

- ごみ発生ホットスポットの特定
- 公共ごみ箱の期間限定設置
- 散乱ごみの定量計測
- ごみ種別分類



調査対象エリアマップ
(星印がごみ箱設置箇所)



設置した公共ごみ箱のイメージ

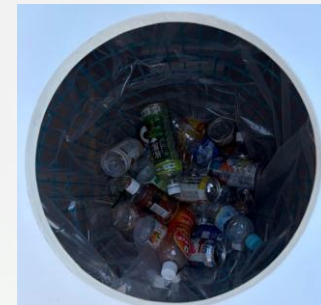
7:調査結果

主な結果は以下の通りである。

- ① 街全体の散乱ごみの数に関してはごみ箱設置の有無による顕著な差は確認されなかった。
- ② 飲料容器ごみペットボトル・缶・びん等の飲料容器についてはごみ箱設置期間中に散乱数の減少が確認された。
- ③ 多く見つかった散乱ごみの種類は紙類、たばこ、包装フィルムなどの小型ごみであった。



見つかった散乱ごみの例（たばこ）



公共ごみ箱で回収された飲料容器

8:考察

本調査から、ごみ箱設置は街全体の散乱ごみを一律に減少させるものではない一方、飲料容器等の一定サイズ以上のごみに対しては抑制効果がある可能性が示唆された。

また、散乱ごみは特定の場所に集中する傾向が確認され、都市部におけるごみ対策では空間的な重点管理が重要であると考えられる。



飲料容器関連ごみの分布を示した
ヒートマップの例

9:本事業の社会的意義

本事業は、観光地におけるごみ箱設置の効果を実測データに基づいて検証した点に特徴がある。

日本では公共ごみ箱の設置を巡る議論が多いが、本調査はその議論を感覚論ではなく定量データに基づいて検討するための基礎資料となる。

また、都市部の散乱ごみ対策を通じて海洋ごみ発生源対策に寄与する取り組みとして意義を有する。

10. 全国展開可能性

本調査の手法は

- 観光地
- 都市公園
- 繁華街

など全国の自治体で再現可能なモデルである。

ごみ箱設置の是非ではなく

戦略的配置

を検討するための実証手法として全国展開が期待される。

11. 今後の展望

今後は

- ホットスポット対策
- 喫煙ごみ対策
- イベント時対策
- 継続モニタリング

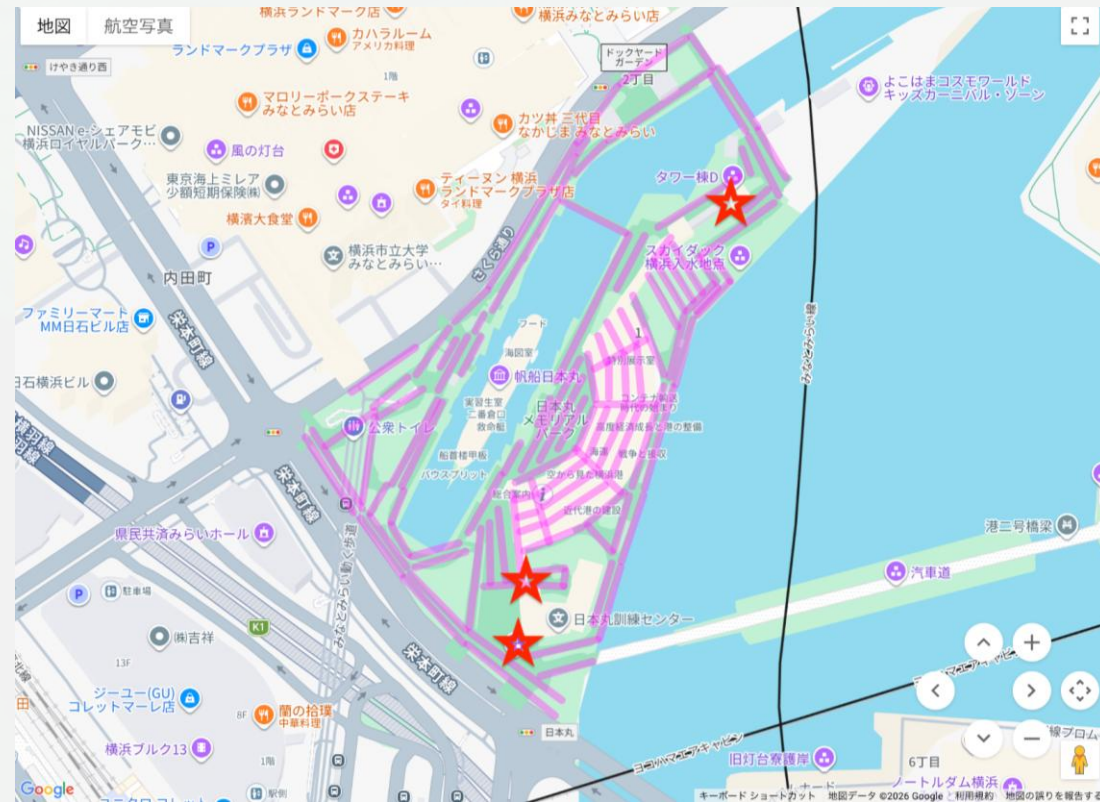
など、より実効性の高い都市型ごみ対策の検討を進めていく。

12. 参考資料

- ①調査ヒートマップ
- ②散乱ごみデータ
- ③調査ルート図
- ④現地写真

本実証は、都市部における海洋ごみ発生源対策としての新たなモデルケースとなる可能性を有している。

12. 参考資料 - ①調査ルート図



ピンクの線が調査にて撮影したルート
赤色の星がごみ箱設置地点

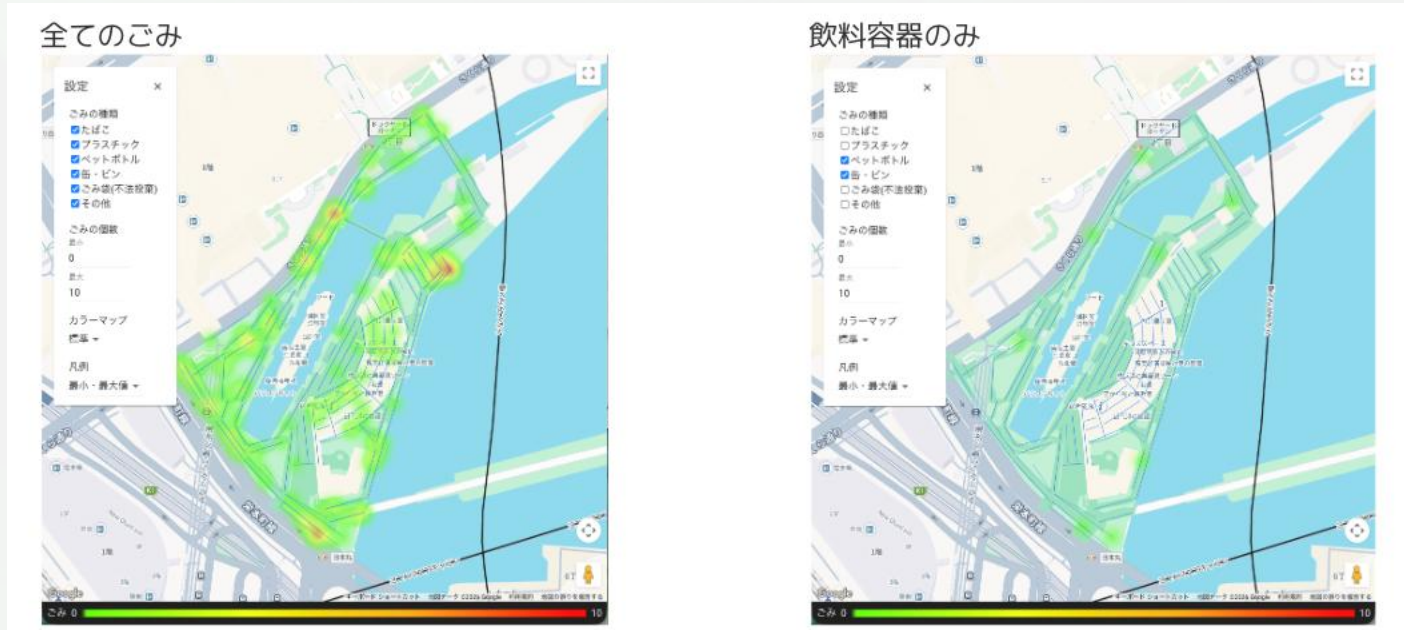
12. 参考資料 - ②散乱ごみデータ

調査で見つかったごみの個数

調査日	飲料容器 (ペットボトル、缶、びん)		飲料容器以外		合計	
	総計(個)	個 / 100 m	総計(個)	個 / 100 m	総計(個)	個 / 100 m
12月11日 *設置前	4	0.12	103	3.20	107	3.32
12月18日 *設置中	0	0.00	134	4.17	134	4.17
12月25日 *設置中	4	0.12	141	4.38	145	4.50
1月8日 *設置中	4	0.13	74	2.32	78	2.44
1月29日 *撤去後	5	0.16	133	4.14	138	4.29

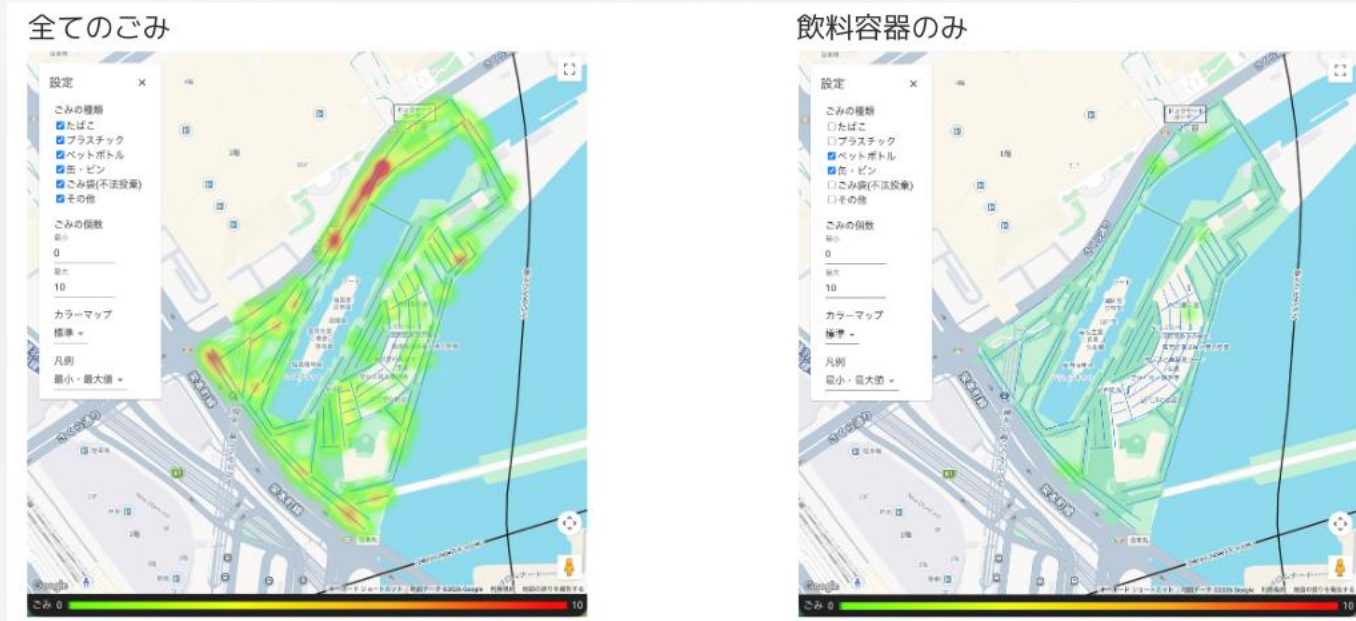
12. 参考資料 -③調査ヒートマップ

公共ごみ箱設置前
(～ 2025年12月11日)



12. 参考資料 -③調査ヒートマップ

公共ごみ箱設置中
(2025年12月11日～2026年1月8日)



12. 参考資料 -③調査ヒートマップ

公共ごみ箱設置後
(2026年1月8日～)



12. 参考資料 -④現地写真

設置された公共ごみ箱 3ヶ所写真



12. 参考資料 -④現地写真

適切に回収されたごみ



12. 参考資料 -④現地写真

適切に回収されなかったごみの例 1
→近くにゴミ箱がなかった地点で見られた



適切に回収されなかったごみの例 2
→回収対象ではないと思われた可能性



◆総括

本事業では、都市部における路上散乱ごみの実態を把握し、観光地におけるごみ対策のあり方について実証的な検証を行った。

調査の結果、公共ごみ箱の設置が街全体の散乱ごみを一律に減少させるものではない一方で、飲料容器等の一定サイズ以上のごみに対しては抑制効果が示唆されるなど、都市部のごみ対策に関する実務的な知見を得ることができた。

また、本調査により、散乱ごみの発生は空間的に偏在する傾向があることが確認され、都市部におけるごみ対策では、ごみ箱の有無のみを議論するのではなく、発生場所やごみの種類を踏まえた戦略的な対策設計が重要であることが示唆された。

都市部で発生するポイ捨てごみの一部は河川を通じて海洋へ流出する可能性があることから、本事業は海洋ごみ問題の上流対策としての意義も有している。

本実証で実施した調査手法および分析アプローチは、観光地や都市公園など全国の自治体においても応用可能なものであり、都市型の散乱ごみ対策を検討するための基礎的なモデルケースとなり得ると考えられる。

一般社団法人SAVE OUR BEAUTIFUL OCEANとしては、本事業で得られた知見を今後の地域活動や自治体との連携に活かし、街のごみ問題の解決を通じて海洋ごみの削減につながる取り組みを継続していきたい。

本事業で得られた知見は、都市部における海洋ごみ発生源対策の新たなモデルとして、今後の政策検討や地域活動に活用されることが期待される。

株式会社ピリカに関する情報は、 下記のリンクをご覧ください

株式会社ピリカ 会社ホームページ

<https://corp.pirika.org/>

ごみ分布調査「タカノメ」紹介ページ

<https://corp.pirika.org/service/takanome/>

お問い合わせ先

<https://corp.pirika.org/contact/>

または

contact@pirika.org

ソーシャルアカウント：

X

https://x.com/PIRIKA_info

Instagram

https://www.instagram.com/litter_pickup_pirika/